

テーマ：『 花や野菜を育てる活動を通して生命を慈しみ、科学する心を育てる』

厚木市立 南毛利小学校

Tel. 046-248-1679 担当者： 加藤 和敏



学校花壇ポチュラカ



ポップコーンの世話



サツマイモ畑



サツマイモの収穫

■実践内容:

南毛利小学校では近くの畑を借用し様々な野菜を栽培してきた。低学年は、さつまいもチューリップ、ミニトマト、大根、さつまいも、ブロッコリー等の栽培をした。中学年は、ポップコーン、大根、ブロッコリー等を栽培した。高学年は、ゴーヤ、ひまわり、大根、ジャガイモを栽培した。栽培委員会では、学校花壇でポチュラカやパンジーの植え付けを行った。サルビアは種から育て、秋にはきれいな花を付けた。サルビアのプランターを運動会で校庭に並べた。

■実践成果:

花や野菜を観察しながら育てることにより、生命を慈しむ心情や科学する心を育てることができた。収穫を通して、勤労の尊さと喜びを体験することができた。学年や学級で友だちと協力しあって育てることにより、思いやり・協力する心情を育てることができた。野菜の栽培や収穫・調理までの一連の活動を通して、栽培の困難さを理解するとともに、穫れたての野菜のおいしさや食べ物を大切に扱い感謝していただく等食育をすすめることができた。

■実践ポイント:

植物は「足音を聞いて育つという」日頃からの観察と手当てが大切だと思う。また、栽培活動の環境整備には、PTA・地域の日頃からの連携協力が大切である。